

1 テーマ 動物が食べる木の実

2 はじめの疑問

- ・ 動物にすきな食べ物はあるか。
- ・ 動物はあまい実をよく食べるか。
- ・ 野鳥公園の山にはどんな木の実があるのか。

3 ちょうさ方法

- ① 森にある木の実を集めた。
- ② 集めた実には、動物の食べかけがあるか見た。
- ③ その中から、実けんに使う実をえらんだ。

ピラカンサ
(0.8cm・1cm)



サンシュユ
(1.7cm・1cm)



カキ
(7cm・8cm)



ヤマコウバシ
(0.7cm・0.8cm)



ツルウメモドキ
(0.8cm・0.8cm)



実けんに使う実は、実けんをするのに十分なりょうで、くさった物が少なかった実だ。

- ④台を作って、台の上と地面にプレートをおいて、それぞれの実を同じ数ずつ入れた。
- ⑤センサーカメラでどんな動物が来て食べるかをとった。
- ⑥野鳥公園に来る日ごとに、実の数を数えた。

実けん台



4 調べた結果・分かったこと

「動物にすきな食べ物はあるか」について

山で見つけたカキとクルミは 18 しゅるいの中で大きい実で、この 2 つにだけ食べかけがあった。

この 2 つの実実は実の部分が多いから、動物はすきだと思えた。

食べかけのカキ（10 月 30 日）



食べかけのクルミ（11 月 6 日）



イタドリ・ナギナタコウジュ・ヒメジオン・イタヤカエデには、食べかけがなかった。

この 4 つの実には羽みたいな物がついている。羽は、食べる時にじゃまになるからきらいなのかもしれない。

イタヤカエデ



イタドリ



ヒメジオン



ナギナタコウジュ



「動物はあまい実をよく食べるか」について

実けんに使ったうち、あまいのはカキ。

あまいけど、少しすっぱいのがピラカンサ・サンシュユ。

その他はあまくない。

台においた実は、さい後の日には全てなくなり、地面においた実のへり方は、全てそれぞれ違っていてグラフの通り。

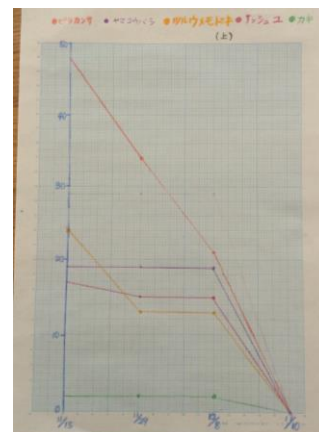
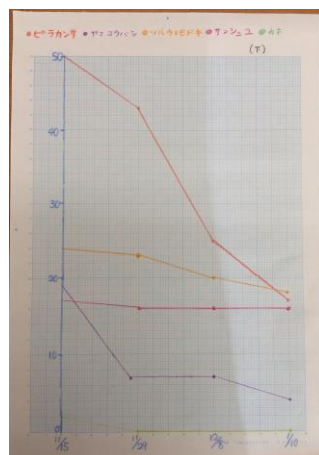
とくに、カキがよく食べられていた。

1番あまいカキが1番へった。

動物は、あまい実をよく食べるようだ。

実けんの図（地面）

実けんの図（台の上）



さるが実けんの実のカキを2つ食べた。

カメラの表の中で、カラスが1番実を食べた。

しかし、カラスがどのしゅるいの実を食べていたのか分からなかった。



台の上の実を食べているカラス

「野鳥公園の山にはどんな木の实があるか」について

実は、18しゅるい見つかった。

ガマズミの仲間



ナナカマド



アオツズラフジ



クルミ



ナンテン



アカマツ



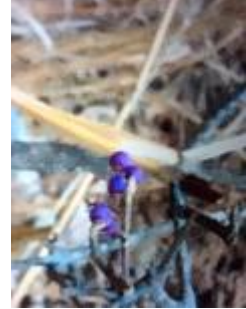
不明



不明



不明



カキいがいは 4cm より小さい。 18 こ中 10 こが丸い形。

5 考察・反省・感想

ヤマコウバシをつぶすとくさいえきが出るから、あまり動物が食べないと思っていた。しかし、その実がすごくへってびっくりした。えきはくさくても、実さい食べて見るとおいしいのかもしれない。この結果をあらたな疑問につなげたい。

もっとしっかりくっつけておけば良かった。
プレートに実の名前を書いておけばよかった。

じゅくしている実、木になっている実、どんな実を動物はこのむのか。実けんの時、なぜ動物は家族全員で来ないのか。

プレート



6 参考文献

- ・ 中川重年・吉山寛著『樹に咲く花①』山と溪谷社 2000 年
- ・ 中川重年・吉山寛著『樹に咲く花②』山と溪谷社 2000 年
- ・ 中川重年・吉山寛著『樹に咲く花』山と溪谷社 2000 年
- ・ 岡本省吾著『樹木』保育社 1983 年